

# 富良野市の幼小連携 全体構造図・スタートカリキュラム

2020. 3. 13

## 1. スタートカリキュラムの目的

### (1) 現状と課題

現在、富良野市内には幼稚園4施設、保育所4施設があり、どの幼稚園・保育所もそれぞれ特色ある教育課程が編成されている。また、小学校においても各学校の特色を存分に生かした教育課程が編成されている。

しかし、小学校入学を境とし、今まで培ってきた学びの系統が途切れ、教える側にとっても、学ぶ側にとっても、戸惑いを感じてしまうという現状も見られている。本市は、特別支援教育において、かねてよりシステム化された体制が構築され、教育委員会が主導となり、幼稚園・保育所、こども未来課、サービス施設、小学校教諭が年間通して連携を図り、定期的な会議や教諭同士の交流が図られてきた。そこで、その強い連携を生かし、幼稚園・保育所と共に、地域に根ざしたスタートカリキュラムの編成をすることで、幼保小が一つの道となることで、子どもたちのよりよい教育につながると考える。

### (2) 期待されること

「小学校は0からのスタートではない」という言葉にあるように、園児たちは、幼稚園・保育所でたくさんの経験を積み、学びの「資質・能力」を育んできている。幼稚園、保育所と連携してアプローチ・スタートカリキュラムを整備することで、児童の心の安定・安心を保証し、さらには幼稚園・保育所で学んできたことを生かした発展的な学びの実現を図ることができる。

目指す子ども像～安心の中で、自己を発揮しながら、仲間とともに主体的に学びに向かう富良野の子ども

## 2. 富良野市としてのスタートカリキュラム

### (1) 全体像

- 自発的な学び
- 環境を通して行う教育・保育
- 遊びの中で、楽しみ、試し、工夫し、見通しをもつ、というように子ども自身が遊びを発展していくこと。

☆絵の具、粘土、季節の遊び、当番活動、友達と話し合っ決めて決めること…小学校の基礎となる学びは、幼稚園・保育所で経験しているよ！



- 自覚的な学び
- 系統的な学び
- 先生から与えられた課題に興味をもち、自分の課題として受け止め「解いてみたい」という意欲をもち学ぶこと
- ☆幼児期の経験をいかして、子どもたちの主体的な発言や意欲を大切に授業構築をしていきましょう！



# 富良野市の幼小連携・推進事業 全体構造図

### 【富良野市教育目標】

- 〈健康〉郷土の生活を改善し、進んで健康の保持増進に努める。
- 〈経済〉たくましい開拓精神と創意工夫により郷土産業の発展を図る。
- 〈文化〉強度の歴史と伝統を正しく理解・継承し、北国にふさわしい生活文化の創造に努める。
- 〈社会〉社会の近代性を正しく把握し、住みよい都市づくりに努める。

### 【課題】

- (1)教員同士の引き継ぎはあるが、児童自身の入学に対する不安解消に向けての取組には課題が残る。
- (2)幼稚園教諭・保育所職員と小学校教諭の交流の場が少ない。

児童が幼稚園教育で培われた力を効果的に発揮することができていない。(特別支援児童はこれに依らない。)

### 【幼小連携で目指す子どもの姿】

- 安心の中で、自己を発揮しながら、仲間とともに主体的に学びに向かう富良野の子ども

### 【幼小連携における目標】

- ～子どもの学びと育ちをつないでいく～
- ①幼児期から小学校入学への希望をもち、安心して学校生活を過ごせる体制を構築する。
- ②幼稚園、保育所での経験を小学校生活でも活かし、自立と成長を促し、自己肯定感を高める。
- ③幼稚園、保育所と小学校が交流し、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を共有し、相互の教育活動の理解促進と向上を図る。

### 【地域の実態】

- 小学校(9校)
- 保育所(4園)
- 幼稚園(4園)

### 【幼小の関わり】

- ・要録による引継。
- ・特支児童においては市のサービス全体が関わり就学会議を適宜、実施。
- ・各学校における幼小交流の実施。
- ・1日体験入学。

## スタートカリキュラムに関すること

### 【単元構成と配列の工夫】

- ①体験活動、友達との関わりを重視した、自覚的な学びに向かう単元構成。
- ②生活科を中心とした総合的・関連的な指導の工夫による単元配列。

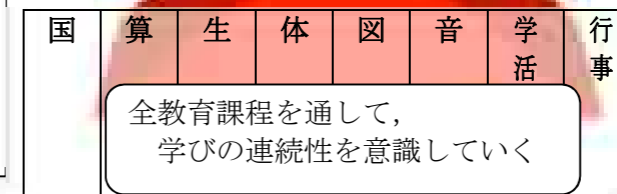
### 【週の計画と時間配分】

- ①弾力的な時間割設定を行う。
- ②①の期間を学校全体の週案と関連づけ組織的に見守る。

### 【5領域を通して育まれる】

健康・人間関係・環境  
言葉・表現

幼稚園・保育所・小学校の交流機会を確保することで、児童が自らの成長を振り返り、さらなる意欲へとつながる。幼稚園で学んだ力を発揮することで、自己肯定感が高まり、次への学ぶ意欲へとつなげることができる。



スタートカリキュラム

児童の把握

【幼児期において育みたい資質・能力】  
知識及び技能の基礎  
思考力、判断力、表現力等の基礎  
学びに向かう力、人間性等

## 連携・接続に関すること

### 【幼児教育の学びを継続・発展】

- ①幼児教育の学びを生かした教育課程編成と単元構築。
- ②互いの授業実践を公開し交流をもつ。
- ③年1回、幼保小研修会を開催。
- ④幼稚園要録を統一し、引継の充実を図る。

## 共通のものさし

### 【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】

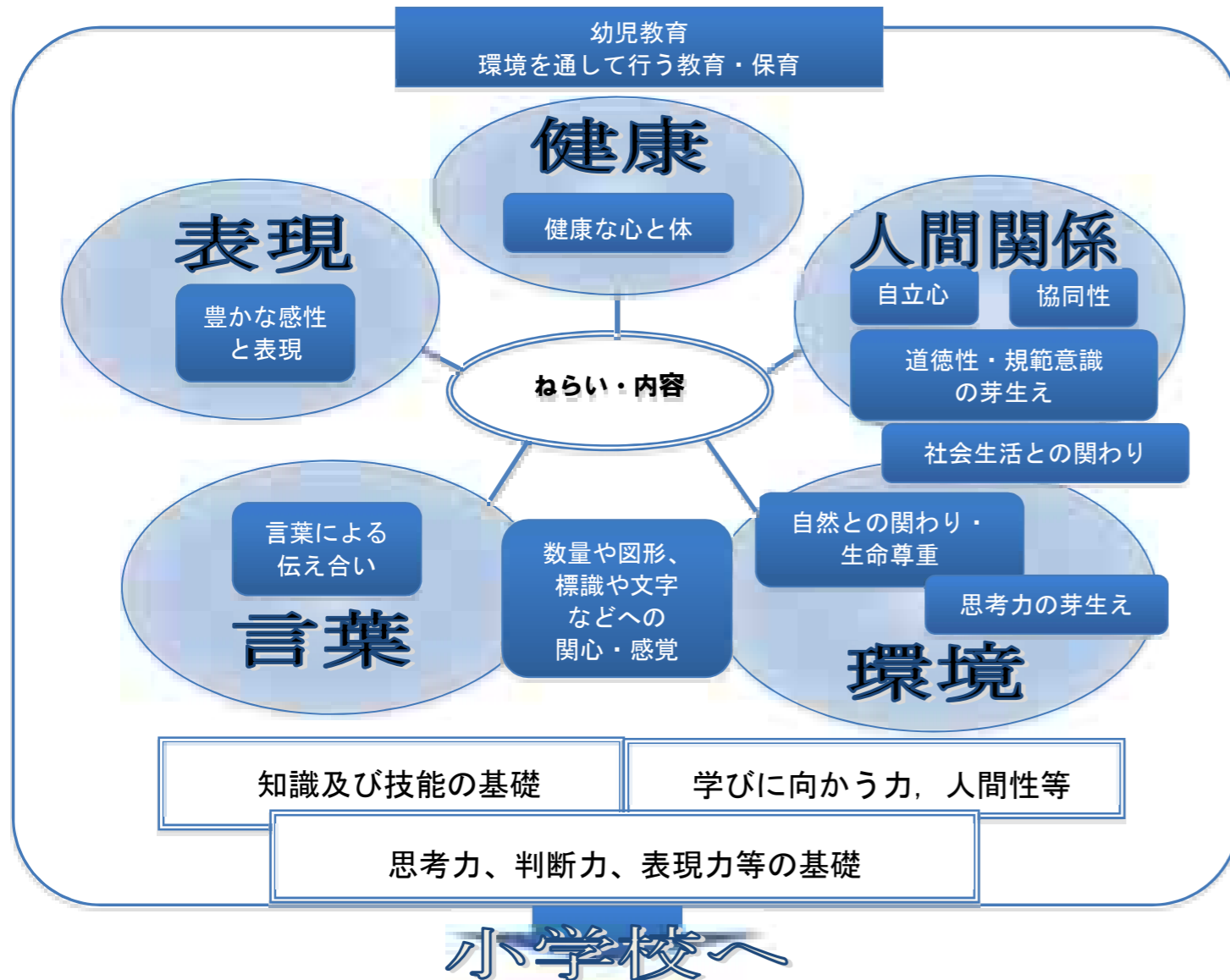
- ①健康な心と体
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

(2) アプローチカリキュラムからのスタートカリキュラム

○幼児教育について

「幼稚園教育において育みたい資質・能力」
遊びを通した総合的な指導において一体的に育まれるもの。
「5領域」
幼稚園教育における、「ねらい」。各活動を通して育まれるものである。
「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」
5領域をより詳しくしたもの。修了時に身につけておくべき力。到達目標ではない。 明文化することで、幼稚園・保育所の学びの到達度が概ね統一されることを目的とされている。

※以下の図に「10の姿」と「5領域」において関連深いものと分類はしたが、「10の姿」は、分類した領域にとどまらず、5領域全ての内容と関わって育つ姿である。



○幼稚園教育において育みたい資質・能力=あくまで「小学校教育の基礎」とあるということ

(1) 知識及び技能の基礎
豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりすること
(2) 思考力、判断力、表現力等の基礎
気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりすること
(3) 学びに向かう力、人間性等
心情、意欲、態度が育つ中で、より良い生活を営なもうとすること

○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿①～⑩」幼児教育修了時にどのような力が身についているのか？

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿と資質・能力の関連	関連する主な教科
①健康な心と体 (知) 自ら健康で安全な生活を作り出すようになる。 (思) 見通しを持って行動する。 (人) 充実感を持って自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせる。	学校行事 特別活動 体育
②自立心 (知) しなければならないことを自覚する。 (思) 自分の力で行うために考えたり、工夫したりする。 (人) 諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信を持って行動するようになる。	学校行事 特別活動
③協同性 (知) 互いの思いや考えなどを共有すること。 (思) 共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりすること。 (人) 充実感をもってやり遂げるようになる。	学校行事 特別活動
④道徳性・規範意識の芽生え (知) してよいことや悪いことが分かる。きまりを守る必要性が分かる。 (思) 自分の行動を振り返ったり、相手の立場に立って行動するようになる。きまりをつくったり、守ったりするようになる。 (人) 友達の気持ちに共感する。自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付ける。	学校行事特別活動 道徳
⑤社会生活との関わり (知) 人との様々な関わり方に気付く。遊びや生活に必要な情報を取り入れる。 (思) 相手の気持ちを考えて関わる。情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになる。 (人) 家族を大切にしようとする気持ちをもつ。自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみを持つようになる。公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。	生活 国語 道徳
⑥思考力の芽生え (知) 物の性質や仕組みなどを感じとったり、気付いたりする。自分と異なる考えがあることに気付く。 (思) 考えたり、予想したり、工夫したりする。自ら判断したり、考え直したりする。 (人) 多様な関わりを楽しむようになる。新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをより良いものにするようになる。	生活 国語 算数
⑦自然との関わり・生命尊重 (知) 自然の変化などを感じ取る。身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づく。 (思) 好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現する。身近な動植物への接し方を考える。 (人) 身近な事象への関心が高まる。自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。	生活 道徳
⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 (知) 数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりする。 (思) 自らの必要感に基づきこれらを活用すること。 (人) 興味や関心、感覚をもつようになる。	生活 国語 算数
⑨言葉による伝え合い (知) 豊かな言葉や表現を身に付ける。 (思) 経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞くこと。 (人) 言葉による伝え合いを楽しむようになる。	生活 国語
⑩豊かな感性と表現 (知) 様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付く。 (思) 感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しむ。 (人) 表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。	生活 図工 音楽

「幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿」は、小学校のどの場面で輝くのか？ 分類していますが、どの項目とも関わりがあります。

## 健康な心と体

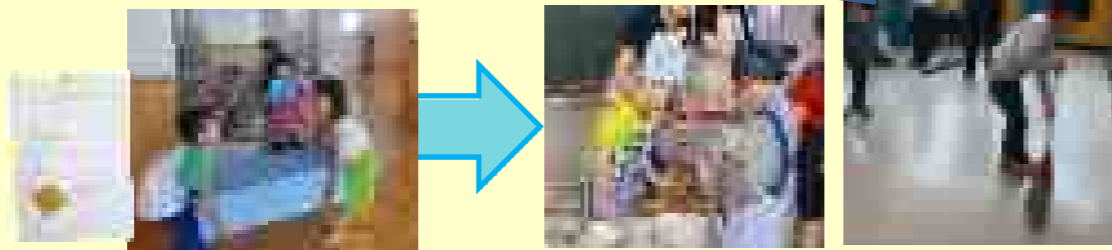


## 思考力の芽生え



## 自立心

授業の後片付けは自分から



## 自然との関わり・生命尊重



クワガタ見つけた！自分たちで育てるよ

## 協同性



バスレクについてみんなで話し合おう

みんなで掃除をするよ

## 数や図形、標識や文字などへの関心・感覚



## 道徳性・規範意識の芽生え



青い線の上でトイレの順番を待つんだよ

まだ遊びたい気持ちと葛藤中

朝の準備や給食は、自分でできるよ

## 言葉による伝え合い



## 社会生活との関わり



## 豊かな感性と表現



(3) スタートカリキュラム作成の前に (チェック項目)

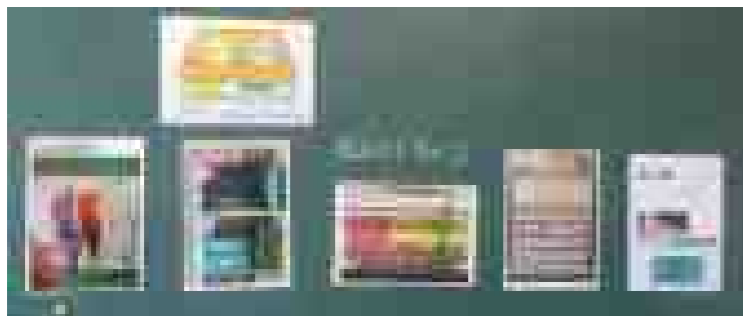
幼児の実態把握

小学校への安心感・期待感をもちさせるために

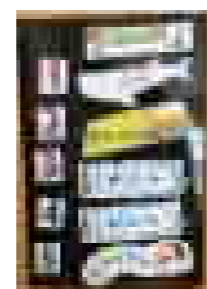
- 就学予定の児童のようすを、幼稚園・保育所へ出向き、観察を実施後、幼稚園教諭や保育者との懇談を設定しているか。(幼保連携協議会)
- 入学前の幼稚園・保育所との合同引継会にて、要録を見ながら一人一人引き継ぎを行っているか。
- 保護者、幼稚園、保育所、サービス施設、医療機関、富良野市、学校間で情報交流をしているか。
- 一日体験入学を実施しているか。
- 年1回、生活科を軸に、幼児と児童の交流の場を設定しているか。
- 「参観日」を未就学児の保護者にも発信されているか。  
※R2年度より各園にてスクールカレンダーの掲示をします。
- 小学校の学びや幼児教育施設の学びに関心をもっているか。  
※R1年度より「学校だより」「園だより」の交換をしています。カリキュラム構築の参考にしましょう。

校内の環境把握と整備

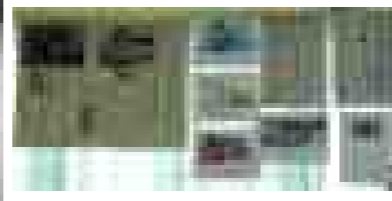
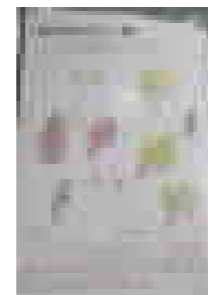
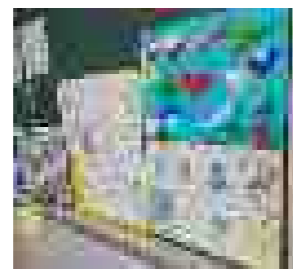
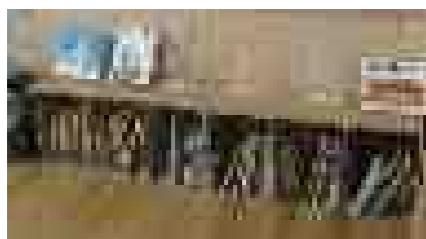
- 幼児の実態把握後、実態に応じて必要な環境の整備を行っているか。
- 児童が安心して学校に通えるよう、校内の組織体制を整備しているか。  
※学校全体で一年生を迎えましょう。
- 入学後の生活科を中心とした教科の学習に必要な環境把握、教材の準備をしているか。コミュニケーションが生まれる掲示をしているか。  
※自分でできる環境・目で見て分かる掲示の工夫



※会話を生み出す環境づくり



※学びのきっかけをつくる掲示



(4) 週単位

○幼児期の「学びの芽生え」を、児童期の「自覚的な学び」へとつないでいく「スタートカリキュラム」

大単元「せいかつかが はじまるよ」(4時間)

「わくわくどきどきしょうがっこう」(16時間)

② 目指す子ども像 安心の中で、自己を発揮しながら、主体的に学びに向かう富良野の子ども

- ② 目標
  - ・幼稚園、保育所での経験を小学校生活に活かすことで、自信をもち、学校生活における自立と成長を目指す。また、それらを通して自らを振り返ることで、自己肯定感を高めることができる。
  - ・学校生活は様々な人や施設と関わっていることや一緒に生活する楽しさが分かり、生活上必要な習慣や技能を身に付け、楽しく安心して学校生活をしたり、安全な登下校をしたりできるようにする。

③ 単元

- 1 週目 中単元「学校は楽しいところ～幼稚園・保育所とくらべて」  
小単元「学校生活のルールを知ろう」  
「せいかつかが はじまるよ」
- 2 週目 中単元「ともだちのこと、学校のことをもっと知ろう」  
小単元「学校にいる人のことを知ろう」  
「学習のルールを知ろう」  
「わくわく どきどき しょうがっこう」
- 3 週目 中単元「みんなと学習する楽しさを味わおう」  
小単元「学校生活に慣れよう」  
「友達と一緒に学校のことを調べよう」  
「わくわく どきどき しょうがっこう」
- 4 週目 中単元「自分らしくすごすために」  
小単元「目標をもって生活しよう」  
「わくわく どきどき しょうがっこう」
- 5 週目より、「教科を中心とした学習」



安心

- 活動や体験を通して、学びに向かう力を育むことができる。
- 安心ある生活の中で、自らのもつ力を発揮することができる。
- 先生や友達に認められることで、自信や意欲が生まれる。

成長

- 安心・楽しさを土台に
- 幼稚園・保育所の生活に近い活動を取り入れることで、安心して学習へと向かうことができる。
- わかりやすく学びやすい環境構成をすることで、安心して学校生活を送ることができる。

自立

- 自分で考え、判断し、行動するようになる。
- 6年間の学びの基盤をつくることができる。
- 夢や希望をもち、前向きに生活していくことができる。

(2) 単元構成

発達や学びの つながり	幼児期の教育			小学校の教育		
	1月	2月	3月	4月	5月	

<p><b>慈恵ひまわり幼稚園</b></p> <p>【年長園児数】約50名 【園の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら気づき、自ら考え行動する子どもを育む。</li> <li>・主体性と自己肯定感の芽を育む教育。</li> <li>・リトミックなど音楽による教育活動も特色の一つ。</li> </ul>
<p><b>聖園幼稚園</b></p> <p>【年長園児数】約20名 【園の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キリスト教的精神に基づいた幼児教育。</li> <li>・積極的に戸外の活動を取り入れ、自然とのふれあいを通して子どもたちの発達を促すようにしている。</li> <li>・4つの柱：遊びの大切さ、自然の中で、心の教育、生きる力</li> </ul>
<p><b>富良野みどり幼稚園</b></p> <p>【年長園児数】約20名 【園の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考える子を指す教育。</li> <li>・ヨコミネ式教育法を軸としながら、小学校との連携を考慮し、自然と学力を身につけるために、漢字を使った才能開発の実践。暗唱、群読などを取り入れている。</li> </ul>
<p><b>ルンビニ幼稚園</b></p> <p>【年長園児数】約40名 【園の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仏教保育に基づいた幼児教育。</li> <li>・体操教室や英語教育を日常的に取り入れ、メリハリのある教育活動を行っている。</li> </ul>
<p><b>保育所(4カ所)</b></p> <p>虹いろ【年長園児数】約25名 あおぞら【年長園児数】約3~5名 山部【年長園児数】約3~5名 東山【年長園児数】約3~5名 【保育の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳~5歳児を通した一貫性のある保育。</li> <li>・基本的生活習慣を身につけた上での保育を行う。</li> <li>・生き生きとして明るい元気な子どもを育む。</li> </ul> <p>特にへき地保育所では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模地域ならではの小学校との強い連携がある。</li> <li>・地域全体で一人一人を大切に育てている。</li> </ul>

知識及び技能の基礎

思考力、判断力、表現力等の基礎

学びに向かう力、人間性等

国語	なかよしのき	こえのおおきさどのくらい	みつけてみよう,たのしくきこう
	たのしいいちにち	かいてみよう	かき,かぎ
	わたしのなまえ	こえをあわせてあいうえお	ことばをあつめよう
	おはなしたくさんききたいな	あいうえお	
書写	がっこうのもじたんけん	はじめのがくしゅう	ひらがなのがくしゅう
算数	なかよしあつまれ	いくつかな	
			なんばんめ
学活	1年生になって	学校図書館の利用について	清掃オリエンテーション
	学校の約束,持ち物の確認	1年生を迎える会に向けて	
	給食について	交通安全について	
生活	せいかつかがはじまるよ		
		わくわくどきどきしょうがっこう	
道徳	がっこうだいすき	きもちのよいせいかつ	なかよくね
		あかるいあいさつ	
体育	身体ほぐしの運動遊び,多様な動きを作る運動遊び		
	リズム遊び・鬼遊び	走の運動遊び	
音楽	どんなうたがあるかな		
図画工作	かきたいものなかに	ちょきちょきかざり	ひもひもねんど
学校行事	入学式	避難訓練	心臓病検診
	身体測定	交通安全教室	1年生を迎える会
幼児教育施設の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人とのスキンシップを(帰り際のハイタッチなど)</li> <li>・当番活動や始めの学習内容は、幼児教育施設でも経験しています。</li> <li>・児の好きなものをさりげなく配置しよう。</li> <li>・幼児期に経験した遊びをたくさん取り入れ、友達との仲を深めていこう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題が見える頃です。要録を見返したり、園に直接、電話をしてみましょう。</li> <li>・参観日でアンケート記入をしてもらい、学級経営に生かそう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの流れが定着している頃。「幼児教育施設での学び」を基礎に、児童が主体的に自己を発揮できる学習指導計画を立てましょう。</li> </ul>

※同じ色の単元は、合科的・関連的に扱う教科。